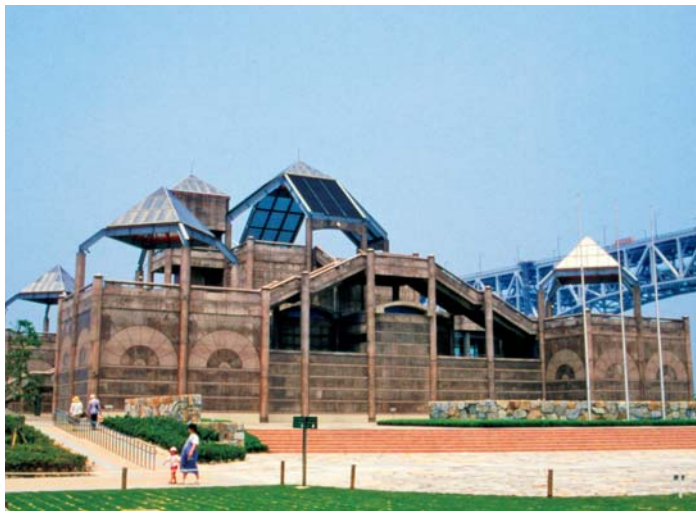




# 万葉から宇宙まで 海がつなぐ物語

いにしえの歌人が見た瀬戸の風景。近代技術の粋を集めた大橋が島々を結んで25年、架け橋はやがて海から空へ。イマジネーションが広がる海景色に、出会いに行きましょう。



瀬戸大橋記念館



ブリッジシアター 全周映像作品「天空の調べ」

瀬戸大橋記念館 ☎0877-45-2344

問

瀬戸大橋記念館

検索

## 玉

藻よし讃岐の国は国柄か、と謳った柿本人麻呂の歌碑が立つ、坂出市沙弥島のオソゴエの浜。瀬戸大橋の優美な曲線が与島の向こうまで一望できる砂浜に立ち、冷たく透き通った水に足をひたせば、日常の慌たしさまで洗われてゆくようです。

「あつ、魚！」と水面を指したのは、浜に遊びに来ていた寒川采香さんと白石朝香さん。専門学校の同期で、今日は友人同士、浜辺で気ままな時間を楽しんでいるそうです。「この辺りは人が少なくても静か。瀬戸大橋がきれいに見えるし、思う存分ゆっくりできるのが気に入っています。夜は橋のライトアップが幻想的ですよ」。波音に包まれ、お茶やお菓子を手に、とりとめの話をするひとときは、最高のぜいたくと言えるかもしれません。

海岸線に沿ってナカンドア浜へ戻りますが、大きな石の上で磯釣りを楽しむ人や、大型クルーズ船を狙ってカメラを構える人、水辺を駆ける家族連れの姿も見かけました。ここでは、思い



エリア 坂出市



寒川さん(左)と白石さん

う、番の州の北端辺りには、瀬戸大橋記念館の特徴的な外観が見えます。10月に大幅リニューアルを実施した同館は、従来の瀬戸大橋に関する展示のほか、「架け橋」をキーワードに、宇宙へのロマンをテーマとする展示に力を入れていきます。全周スクリーンのブリッジシアターに、宇宙にまつわる独自の映像コンテンツを導入。壮大なスケールで、海から天空へと視線をいざないます。

「根底にあるのは、瀬戸大橋の提唱者である大久保謙之丞が、明治の時代に既に現在の宇宙開発をも予見していた豊かな発想力。瀬戸大橋架橋工事の指揮を執った杉田秀夫氏の功績とともに、郷土の人々の生きざまを伝えるコーナーも充実を図りました。子どもたちがワクワク、ドキドキしながら



廣瀬館長

ら過ごせる空間をつくり出しています」と、廣瀬義文館長。

展望台に立てば、目の前に広がる瀬戸大橋の迫力ある景観と、青く澄んだ瀬戸内海の穏やかな眺め。海風が吹き抜ける、最高のロケーションです。秋空の下、坂出のまちのすぐそばに広がる海の魅力、訪ねてみませんか。

平成25年は瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年、26年は瀬戸内海国立公園指定80周年。節目の年を迎える今だからこそ、いつも私たちとともにある瀬戸内海の美しさを、もう一度考えてみませんか。今回から、海辺のにぎわいや魅力も交えつつ、豊かな「里海」の世界をご紹介します。

## まちも、川も、海に通じる

美しい海は一人一人の意識から

坂出をはじめとする中讃の海を守ろうと、中讃海域漁場環境整備協議会が毎年9～11月、海面清掃や汚染防止活動に取り組んでいます。



大きな河川が流れ込む中讃の海は、河川のごみ、台風などの影響による流木や大型ごみなどが流れ着くところでもあります。

協議会の蛭子光久会長は「海は漁師の仕事場だからこそ、きれいにしておくのが務め。とはいえ、家庭の排水は川に、川は海につながっています。流域に住む一人一人の心掛けが大切。私が子どものころはすぐ近くに美しい海があり、タコやエビや貝がいくらでも採れました。活動を通じて、あのころの海に戻っていきたくてね」と、思いを込めて話してくれました。



蛭子会長